

第58回 指定都市子ども会育成研究協議会（大阪大会）

令和4年11月26日～27日 KKRホテル大阪

大会テーマ 「WITHコロナ・都市型子ども会のお活性化」



1日目の分科会では、指定都市の子ども会でも会員が減少傾向にあり、コロナ渦で行動制限により、会員募集や行事も思うようにできず、子ども会としての活動も消極的になってきています。そんな中、子ども会役員・指導者が新しい生活様式に意識をチェンジし、WITHコロナの中で、より活動が活性化できるような、地域の現状や思考を活かした活発な意見交換を行いました。

検討課題は5つありました。

- ① 魅力的な活動・行事 ②ジュニアリーダーの育成 ③指導者の育成と保護者の参加
- ④ 地域コミュニティとの関わり・協力 ⑤会員の募集・広報・発信

付箋3色に、ブルー（現状の問題点や課題）、イエロー（理想とする形やありたい姿）、ピンク（新しいアイデアや解決策）を記入していきます。

8人グループの中で自己紹介をし、リーダー1名、記録2名、発表者1名を決めました。その後、各々の意見をだして、それを付箋に書いて模造紙に貼りました。最後、発表者が上手にまとめて、グループの意見報告をしました。



2日目は、基調講演「地域の中で子どもを育てる」天理大学副学長 岡田龍樹先生のお話がありました。

子ども会は地域とつながる接点の一つで、地域を知り地域の人を知ることによって地域の一員であると認識を持つ。個を重視した人間関係の希薄化や孤立する時代だからこそ個と個のつながる子ども会活動は必要で、地域を基盤とした組織化から信頼できる関係こそが子どもの成長にとって重要である。とお話がありました。参加者は熱心にメモをとりながら聞いていました。

市子協の取り組みや実践は、1日目の検討課題や2日目の講演の内容と合致するものが多く自信を深めました。さらに、他都市の取り組みも大変参考になり、学ぶことが多く、有意義な研究協議会でした。

事務局 吉住嘉美